

05.ハウスボート



世界遺産の街アムステルダムの運河に浮かぶハウスボート。

ハウスボートは 1960 年代からアムステルダムの高密度化に伴う深刻な住宅難に対応すべく水上生活の登録を可能にする法律が法令化された。現在では約 2500 隻の登録があり、新規での登録は規制されている。その生活はプレミアム化され、通常の住宅よりも高い値段の運河代を支払う。また、ホテルやレストランなどの営利目的にも利用をされている。住所は「停泊している付近の住所+その付近のボート」となるようである。

実際の内部空間についてアンネフランクミュージアムからほど近い運河に停泊をしているハウスボートミュージアムの視察を行った。内部は非常にコンパクトにまとまっており2~3人で住むには十分な広さがある。実際の模型や建て替えのパンフレットなどが展示され、奥に進むとハウスボート建造の映像を見ることができる。街を歩くといたるところで必ず目に入ってくる水上の風景。内部空間自体は決して広いとは言えないが街自体が一番大事にしている運河とのつながり・風景を最大限に享受できる空間となっていた。

竹内 聡洋